

国立国語研究所学術情報リポジトリ

The Educational Film Series for the Japanese
Language : Basic Level : Practice Exercises Unit 5

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2021-02-12 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 国立国語研究所, The National Language Research Institute メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.15084/00003121

16mmフィルム
ビデオテープ

日本語教育映画 基礎編

れんしゅうちょう

ユニット **5** (第21巻～第25巻)

国立国語研究所

前 書 き

この「日本語教育映画 基礎編 練習帳」は、「日本語教育映画 基礎編」を使用する学習者のための補助教材として作成しました。

「日本語教育映画 基礎編」は、日本語を母語としない学習者が日本語を学ぶための初級用映像教材で、1巻5分から8分の作品30巻で構成されています。各巻、独立した学習内容と主題を持っているので、日本語の授業で教科書と併用する副教材として個別的に利用することもできますが、また基礎的日本語能力を実践的に身につけるための教材として、系列的に順次利用することも可能です。

この練習帳は、映画各巻の学習内容とストーリーに即して練習を展開させ、ユニット（映画5巻分）単位でまとめました。

日本語教育映画とあわせて御利用ください。

『日本語教育映画 基礎編』 練習帳

ユニット(5)目次

第21巻	おけいこを みに いってもいいですか	1
第22巻	あそこに のぼれば うみがみえます	9
第23巻	いえが たくさんあるのに とてもしずかです	19
第24巻	おかねを とられました	27
第25巻	あめに ふられて こまりました	33

21

おけいこをみに
いっても いいですか

□には、ほいらない
ようにして □。

あっ
□。



□をなげては
いけ□よ。

まだ はいれ□。

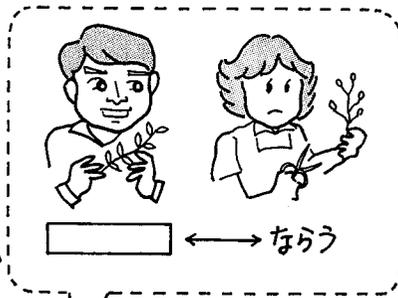
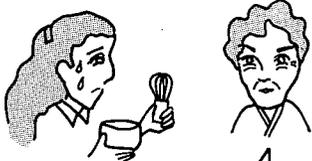


はいても
□のかしら？

きょうは
お□のおけいこ
でしょう。



もっと ちゅういしなくては
□。



□ ← → ならう

お□のおけいこをはじめたんでしう。



おけいこをみにいっても
□かしら。

ええ、□に
しょうかいするわ。



あら、□さん じかん。
おけいこに いが□ば
ならないわ。
□で いが□ば。

① 「～ても いい／かまわない」 ↔ 「～ては いけない／ならない／こまる」

1. ちゃしつに はいりたいです → はいれますか。

→ ちゃしつに はいっても いいですか。

→ { はい、はいっても かまいません。
いいえ、はいっては いけません。

2. おけいこを 覓に 行きたいです → 覓に 行けますか。

→ おけいこを いいですか。

→ { はい、 だいじょうぶです。
いいえ、 こまります。

② 「～なくては (なければ) / いけない(ならない)」 ↔ 「～なくても いい」

1. ちからを いれます。

→ ちからを いれなくては いけませんか。

→ いいえ、ちからを いれなくても いいです。

2. おけいこに 行きます。

→ おけいこに なければ なりませんか。

→ いいえ、おけいこに なくても かまいません。

③ 「～ように して ください」

1. しばふには はいらない ように して ください。

2. もうすこし したに むける して ください。

④ 「～した ほうが いい」

はな、いける → この はなを いた ほうが いいです。

⑤ 「まえに」 → 「～てから」

これを いける まえに、ここを 切って おきます。

→ ここを 切ってから、これを いけます。

⑥ 「～ても いい」 ↔ 「～ては いけない」

れい：ちやしつ、はいる→ちやしつに はいっても いいですか。

{はい、はいっても いいです。
いいえ、はいっては いけません。

1. しばふ、あそぶ→
2. いし、なげる→
3. しゃしん、とる→
4. 葉、切る→
5. ふた、とる→

⑦ 「～なければ ならない」 ↔ 「～なくても いい」

れい：けいこ、する→けいこを しなければ なりませんか。

{はい、けいこを しなければ なりません。
いいえ、けいこを しなくても かまいません。

1. はな、いける→
2. おちゃ、ならう→
3. てがみ、かく→
4. でんわ、かける→
5. にほんご、はなす→

⑧ 「～ように して ください」

れい：しばふ、はいる→しばふに はいらない ように して ください。

1. もん、あける→
2. きょうしつ、ねる→
3. じしょ、見る→
4. ごみ、すてる→

⑨ 「～た ほうが いい」

れい1: かぜを ひきました(病院、行く)→ 病院へ 行った ほうが いいでしょう。

1. ともだちが 来ます (そうじ、しておく) →
2. パーティーが はじまります (りょうり、はこぶ) →
3. しけんを うけます (もっと べんきょうする) →
4. あめが ふりそうです (かさ、持って行く) →
5. さむく なって きました (ストーブ、つける) →

れい2: しゃしん、とる → { A: しゃしんを とっても かまいません。
B: いいえ、とらない ほうが いいと おもいます。

1. たばこ、すう →
2. 川、およぐ →
3. しばふ、はいる →
4. おみまい、行く →
5. おくさん、しらせる →

⑩ 「～て おいた ほうが いいですよ」の かたちを つかって 文をつくりなさい。

れい: わかい うちに → わかい うちに いろいろ 経験して おいた ほうが いいですよ。

1. いまの うちに →
2. ひまな ときに →
3. げんきな うちに →
4. わすれない うちに →
5. けっこんする まえに →
6. こどもが ねて いる あいだに →
7. 気が かわらない うちに →
8. 日本に いる あいだに →

⑪ どれが ^{ただ}正しいですか。

1. バスの なかで たばこを $\left\{ \begin{array}{l} \text{すっても かまいますか。} \\ \text{すっては いけますか。} \\ \text{すっても いいですか。} \end{array} \right.$
2. もう じかんですから、はやく $\left\{ \begin{array}{l} \text{行けば なりません。} \\ \text{行かなくては いけません。} \\ \text{行っても なりません。} \end{array} \right.$
3. ともだちに でんわを $\left\{ \begin{array}{l} \text{しては いいです。} \\ \text{したように してください。} \\ \text{したほうが いいです。} \end{array} \right.$

⑫ 「～まえに」「～てから」

れい：湯を わかす、お茶を 入れる

→ $\left\{ \begin{array}{l} \text{湯を わかしてから、お茶を 入れる ように して ください。} \\ \text{お茶を 入れる まえに、湯を わかして ください。} \end{array} \right.$

1. ふたを とる、お湯を 入れる→
2. べんきょうを する、あそびに 行く→
3. でんわを かける、うちへ 来る→
4. ノックする、へやへ はいる→
5. 免許を とる、くるまを 買う→

⑬

れいⅠ：かう→ かっても かわなくても いいです。

- | | |
|--------|---------|
| 1. かく→ | 5. わかる→ |
| 2. 切る→ | 6. いる→ |
| 3. 着る→ | 7. ある→ |
| 4. 来る→ | 8. する→ |

15 会話の 練習を しましょう。

1. A: 本を よんでも かまいませんか。

B: いいえ、いま よんでは いけません。

あとで よむ ように して ください。

A: そうですか。じゃ、あとで よむ ことに します。

1. たばこ、すう

2. くすり、のむ

3. じしょ、しらべる

2. A: もう なかに はいっても いいですか。

B: まだ はいれません。

A: そうですか。

1. ごはん、な食べる

2. うち、かえる

3. このへや、つかう

3. A: あっ、もう おはなの おけいこに 行かなければ なりません。

B: じゃ、いそいで 行かなければ……。

C: さあ、はやく 行きましょう。

1. がっこうに、でかける

4. A: 本を よんでも かまいませんか。

B: いいえ、ここで よんでは いけません。

としよかんで よむ ように して ください。

A: そうですか。じゃ、としよかんで よむ ことに します。

1. たばこ、すう、ロビー

2. この へや、ねる、じぶんの へや

3. じしょ、しらべる、うち

⑩ テープを きいて の なかに かきなさい。

あきこ：この の いろ、すてき 。

なつこ：。

はるこ：。

なつこ：ほら、 の しろい はなも 。

はるこ： いろいろな があるのね。

はるこ：この 、きっても か。

せんせい：いいえ、 。

いいですか。

。

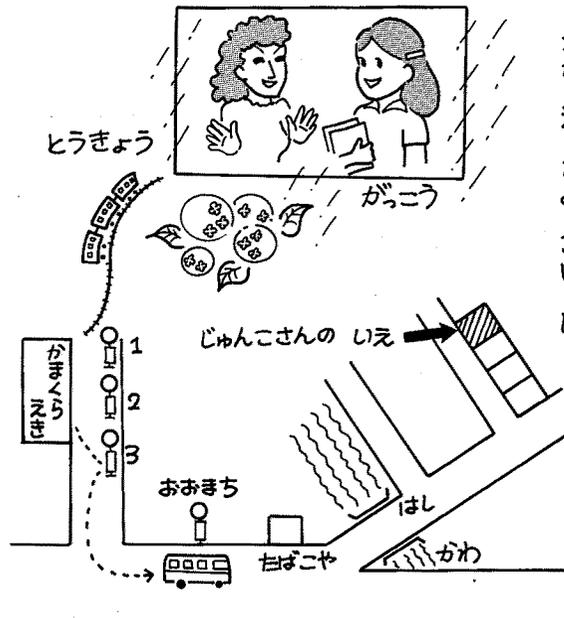
この のこして が いい 。

⑪ ビデオを みて こたえなさい。

1. もう 10時^じに なりましたか。
2. ちゃしつ^{しつ}の なかに はいっても いいですか。
3. しばふに はいっても いいですか。
4. いけに いしを なげても いいですか。
5. にわで しゃしんを とっても かまいませんか。
6. はるこさんは 何^{なに}の おけいこ^{おけいこ}を して いますか。
7. はさみは しっかりと 持^もたなくては なりませんか。
8. ちからを いれて きらなくては いけませんか。
9. あきこさんは 何^{なに}の おけいこ^{おけいこ}を して いますか。
10. おちやの せんせいは やさしいですか。
11. なつこさんは 何^{なに}を ならいたがって いますか。
12. なつこさんは おはなの おけいこ^{おけいこ}を 見^みに 行く つもりですか。



あそこへのぼれば
うみがみえます



こんどの にちようび つごうが よ
わたしの うちに 二ない？

ええ、おてんきが よ 行って みたいわ。

おきゃくが く 、ちちも とても
よろこぶわ。

ごめいわくで な おじゃましても
いいかしら。

じゃあ、ちずを かくわ。

かまくらぞ ちばんの バスに のります。
おおまちで バスを おります。
この みちを すこし いく
たばこやさんが あります。
ここで ひだりの みちにはいる
すぐ、ちいさな はしが あります。
はしを わたって 2ばんめの みちを
ひだりに まがる みぎがわの
4けんめの いえです。

あそこへのぼ 、うみが みえますよ。

ふじさんも みえるかしら。

みえると いいわ。

ふゆ よく
みえるんだが。

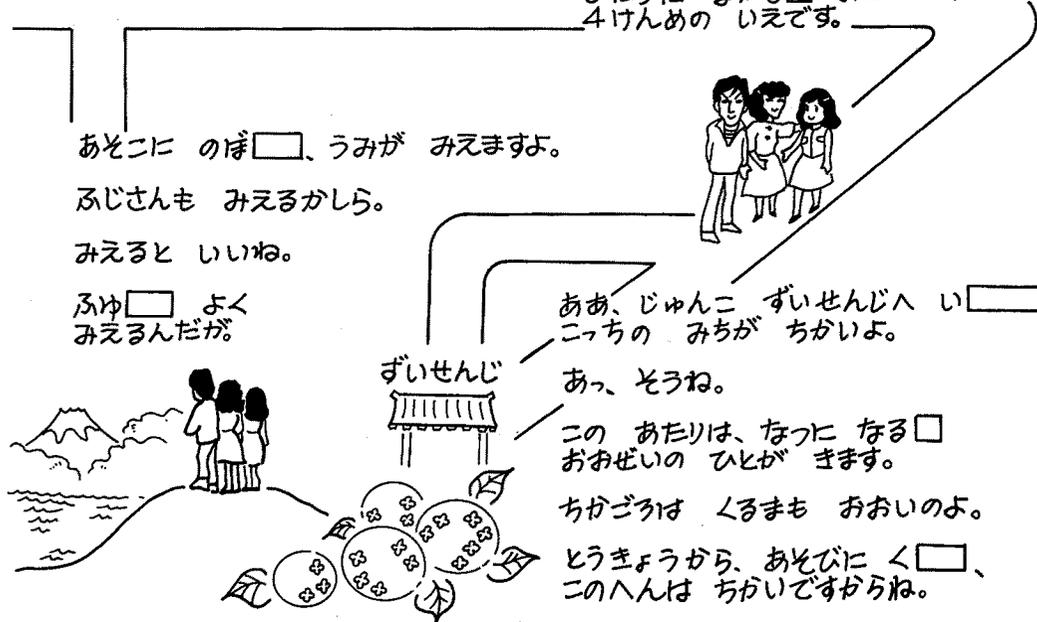
ああ、じゃんこ ずいせんじへ い 、
二つちの みちが ちがいのよ。

あ、そうね。

この あたりは、なつに なる
おおぜいの ひとが きます。

ちがごうは くるまも おおいのよ。

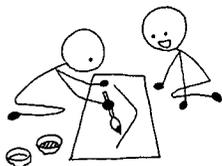
どうきょうから、あそびにく 、
このへんは ちがいですからわ。



① 「～と」「～ば」「～たら」「～なら」

1. ○まいにち 雨が ふるので こまります。→ 早く つゆが 終わるといいな。
- 早く バスが () いいですね。(来る)
 - しけんが () いいですね。(できる)
2. ○こんどの 日曜日、あなたの つごうは どうですか。
- つごうが よければ、わたしの うちに 来ませんか。
- ええ。日曜日は お天気が いいか どうか、まだ わかりませんが、
- お天気が よければ、行って みたいです。
- お客が ()、父も よろこびます。(来る)
 - ごめいわくで ()、おじゃましても いいでしょうか。
(ない)
3. ○では 地図を かきます。→ おおまちで バスを おりて、少し 行くくと、たばこ屋さんが あります。
- 左の 道に ()、橋が あります。(入る)
 - 二本目の 道を 左に ()、四軒目の 家です。
(曲がる)
4. ○たばこ屋さんが 知って いるか どうか わかりませんでした。きいて みました。たばこ屋さんは よく 知って いました。
- たばこ屋さんで きいたら、すぐ わかりました。
- うちへ()、12時 すぎでした。(かえる)
5. ○こんな きれいな 色は わたしには 出せません。
- こんな 色が 自由に 出せたら、素晴らしいです。
- ひまが ()、見に行きたいです。(ある)

6. ○かわく ^{まえ}前は だめです。もう かわきました。それから
ぬります。→ かわいたら、ぬります。



- えきに (), ^{でんわ}電話を かけます。(つく)
- 読み (), かして ください。(おわる)

7. ○これから あじさいを 見る そうですね。わたしは、ずいせん寺の
あじさいが きれいで いいと 思います。

→ あじさいを 見るなら、ずいせん寺が いいですね。

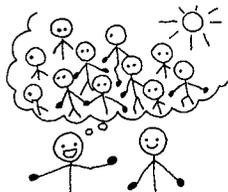
- ずいせん寺へ (), いっしょに 行きましょうか。

(行く)

- ^{とうきょう}東京から (), かまくらは ^{ちか}近いですからね。

(来る)

8. ○夏には いつも おおぜいの ^{ひと}人が きます。

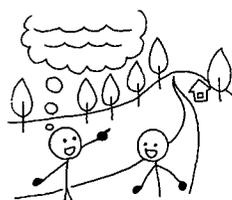


→ 夏に なると、おおぜいの ^{ひと}人が きます。

- つゆの ころに (), よく 見る ^{はな}花です。

(なる)

9. ○ここでは ^{うみ}海は 見えません。しかし



→ あそこに のぼれば、^{うみ}海が 見えますよ。

- ^{べんきょう}勉強(), ^{にほんご}日本語が じょうずに なりますよ。

(する)

- よく(), ^{びょうき}病気が なおるでしょう。(ねる)

10. ○^{いま}今、^{ふゆ}冬では ありませんから__。



→ 冬なら、よく 見えるんだが。

- 8時ごろなら、うちに いたんですが。

- ひまなら、行きたいんですが。

②

「～と」	行く	→	行くと	あつい	→	あついと
	話す	→		新しい	→	
	立つ	→		来ない	→	
	起きる	→		きれいな	→	きれいだと
	する	→		元気な	→	
「～ば」	うたう	→	うたえば	むずかしい	→	むずかしければ
	飲む	→		いい	→	よければ
	のる	→		わからない	→	わからなければ
	食べる	→	たべれば	*げんきな	→	げんきなら
	見る	→		*なつ	→	なつなら
「～たら」	咲く	→	さいたら	やさしい	→	やさしかったら
	出す	→		いい	→	
	よろこぶ	→		雨ではない	→	雨でなかったら
	見える	→	見えたら	すてきな	→	すてきだったら
	いる	→		らくな	→	
「～なら」	書く	→	書くなら	多い	→	
	まつ	→		やさしくない	→	やさしくないなら
	できる	→		めいわくな	→	めいわくなら
	入れる	→		冬	→	冬なら
	かるい	→	かるいなら	本当	→	

③ 「～と」

「れい」: この 道^{みち}を 少^{すこ}し 行^いく、たばこやさんが あり^あります

→ この 道^{みち}を 少^{すこ}し 行^いくと、たばこやさんが あり^あります。

1. 右^{みぎ}に 曲^まがる、花^{はな}屋^やが あり^あります →
2. さけを 飲^のむ、たのしくなり^なります →
3. さとうを 入^いれる、おいし^いいです →
4. 日^に本^{ほん}語^ごが わから^らない、こまり^まります →
5. よく まぜ^まぜない、きれいな 色^{いろ}に なり^なりません →

④ 「～といい」

「れい」: 早^{はや}く つゆが 終^おわる → 早^{はや}く つゆが 終^おわると いい^いいんですが。

1. 大^{だい}学^{がく}に 入^いる →
2. 早^{はや}く おおさか^さかに つく →
3. 父^{ちち}が 喜^{よろこ}ぶ →
4. もっと 近^{ちか}い →
5. おもしろ^{おもしろ}い 仕^し事^{ごと}だ →

⑤ 「～ば」

「れい」: あそこ^{あそこ}に 登^{のぼ}る、海^{うみ}が 見^みえますよ → あそこ^{あそこ}に のぼ^{のぼ}れば、海^{うみ}が 見^みえますよ。

1. かわく、こい 色^{いろ}に なり^なります →
2. きょう 出^です、土^どよう日^びまで^{まで}に つく^つくでしょう →
3. 10分^{じゅうぶん}ぐらい 待^{まち}つ、バ^ばスが き^きますよ →
4. たくさん 勉^{べん}強^{きやう}する、じょうず^{じょうず}に なり^なります →
5. 早^{はや}く 来^くる、すわれ^{すわれ}ますよ →

れい2: つごうが いい、うちへ 来ませんか

→ つごうが よければ、うちへ 来ませんか。

: ごめいわくで ない、行って みたいです

→ ごめいわくで なければ、行って みたいです。

1. むずかしい、しなくても いいです →
2. つごうが わるい、言って ください →
3. 色が いい、買いたいです →
4. あまり 遠くない、歩いて 行きましょう →
5. 土よう日で ない、うちに いますよ →

6 「～たら」

れい: かわく、その 上から ぬります

→ かわいたら、その 上から ぬります。

1. 東京に つく、電話を かけます →
2. テレビを 買う、わたしにも 見せて ください →
3. さけを 飲む、うんてんしては いけません →
4. ねむい、ちょっと 休んだ ほうが いいですよ →
5. ひまだ、てつだって くれませんか →

7 「～たら」

れい: たばこ屋さんで きく、すぐ わかりました

→ たばこ屋さんで きいたら、すぐ わかりました。

1. れんしゅうする、じょうずに なりました →
2. うちへ 帰る、手紙が 来て いました →
3. 冷やす、おいしく なりました →
4. かおを 見る、慰み出しました →
5. しおを 入れる、おいしく なりました →

⑧ 「～なら」

れい1: 冬ふゆです、よく 見みえます → 冬ふゆなら、よく 見みえます。

1. かまくらです、お寺てらが たくさん あります →
2. 男おとこの 人ひとです、らくに 運はこべます →
3. ほかの 本ほんです、かして あげます →
4. きょうとです、行いきたいです →
5. にほんがです、買かいます →

れい2: ずいせん寺じへ 行いきます、こっちの 道みちが 近ちかいですよ

→ ずいせん寺じへ 行いくなら、こっちの 道みちが 近ちかいですよ。

1. カメラを 買かいます、しんじゆくが 安やすいです →
2. こくします、この 色いろを ませて ください →
3. ふじさんに のぼります、ズボンを はいて 行いった ほうが いいです
よ →
4. 絵えを かきます、この 辺へが いいでしょう →
5. ほっかいどうへ 行いきます、ひこうきが はやくて べんりです →

⑨

れい: 早はやく つゆが 終おわるといいですね。(～ば)

→ 早はやく つゆが 終おわれれば、いいですね。

1. おゆで 洗あらえば、もっと きれいに なります。(～たら)
2. 英えいご語ごが できないと、大だい学がくに 入はいれませんよ。(～ば)
3. ひまだったら、てつだって ください。(～なら)
4. 歩あるいて 行いったら、30分ぷん かかります。(～と)
5. たくさん 買かったら、安やすく なります。(～ば)

⑩ どちらが ^{ただ}正しいですか。

れい：(安いと、**安ければ**)、買いたいです。

1. こんどの ^ひ日よう日、^{あめ}雨が (ふると、ふれば)、お寺には ^い行きません。
2. タクシーで (行けば、行ったら)、まに ^あいました。
3. ばんごはんが (できれば、できたら)、あなたを ^よびます。
4. コーヒーを (のむなら、のんだら)、あの ^{みせ}店が いいですよ。
5. あじさいの ^{はな}花が (咲くと、咲いたら)、^{しやうしん}写真を ^とりましょう。
6. (かわけば、かわいたら)きれいに ^なりました。
7. バスを (おりるなら、おりたら)、その ^{みち}道を ^まっすぐ ^い行って ^くだ
さい。
8. ケーキを (食べるなら、食べたら)、^き切って ^あげるよ。
9. (いそがしいと、いそがしければ)、^い行かなくても ^いいいです。
10. えきに (つけば、ついたら)、^{でんわ}電話を ^してください。

同じですか。少し ^ちがいますか。ぜんぜん ^ちがいますか。

{ いっしょうけんめい ^{べん}きょうすると、^{じょう}ずになります。

{ いっしょうけんめい ^{べん}きょうすれば、^{じょう}ずになります。

{ ^{やまだ}山田さんが ^く来るなら、わたしは ^{かえ}ります。

{ ^{やまだ}山田さんが ^き来たら、わたしは ^{かえ}ります。

{ そつぎょうすれば、^{けっ}こんします。

{ そつぎょうしたら、^{けっ}こんします。

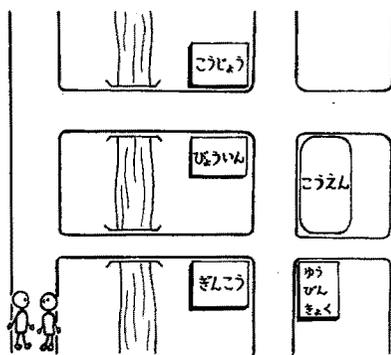
{ いい^{てんき}天気なら、^い行きます。

{ いい^{てんき}天気なら、^い行くのですが。

⑪ 文をつくらせてください。

1. 都合がよければ、_____。
2. ごめいわくでなければ、_____。
3. よかったら、_____。
4. _____ といいのですが。
5. _____ ば、わかります。
6. _____ たら、友だちに会いました。
7. _____ なら、いっしょに行きましょうか。

⑫ せつめいして ください。



れい：こうじょうへ 行くとき、どうやって 行きますか。

→ この道をまっすぐ行って 二本目の道を右にまがってください。すこし行くと橋があります。その橋をわたってもうすこし歩くと、左がわにこうじょうがあります。

1. 病院へ行くとき、どうやって行きますか。
2. やまださんのうちへ行くとき、どう行ったらいいですか。
3. ゆうびんきょくへ行きたいのですが、どう行ったらいいでしょうか。

○のるなら、のむな。のんだら、のるな。(ドライバーのためのことば)

○やめるなら、はじめるな。はじめたら、やめるな。

(何かをならっている人のためのことば)

みなさんも なにか おもしろい文を かんがえて みて ください。

13 会話の れんしゅうを しましょう。

1. A: この とけいは いかがですか。

B: もうすこし 安ければ、買うんですが。

A: よかったら、ほかのも 見て みませんか。

B: ええ、もっと 安いのがあるなら、見て みたいです。

1. カメラ、かるい

2. テープレコーダー、音が いい

3. ズボン、色が こい

4. かばん、じょうぶな

5. テレビ、色が きれい

14

れい: 雨が ふる

→ 雨が ふったら、どう しますか。

タクシーで 行く つもりです。

1. 大学に 入る

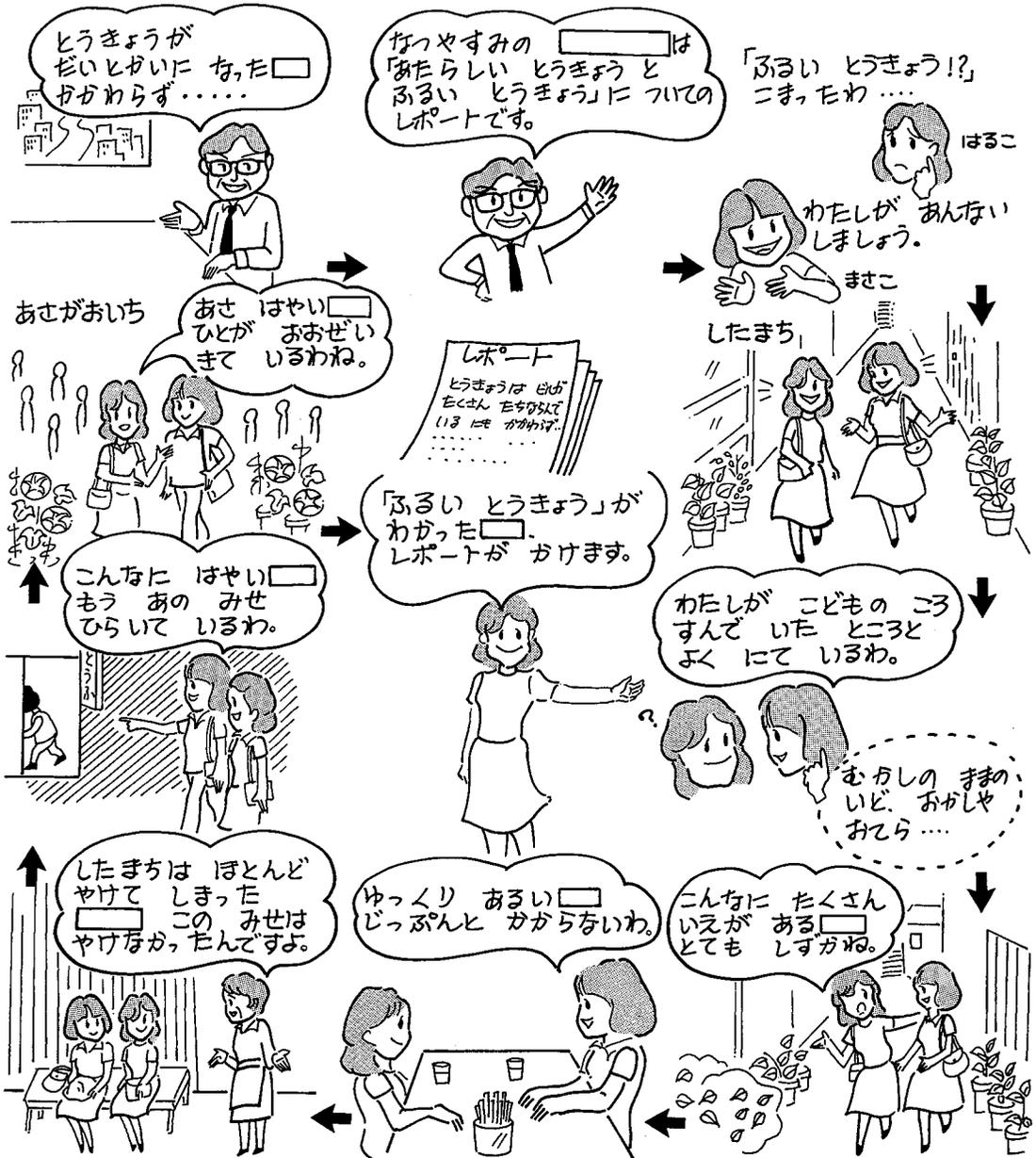
2. きらいな 人が うちへ 来る

3. あした 学校が 休みだ

4. 頭が いたい

5. 道が わからない

いえが たくさんあるのに
とてもしずかです



① 「～にも かかわらず」「～のに」「～ても」「～けれども」

1 ～にも かかわらず —— ≡のに

(大学の先生の授業) : 東京が この ような 大都会に なったにも かかわらず、
まだ 昔の ようすも 残って います。

(下町を見て歩いた春子の話) : 東京の 中心には ビルが たちならんで います。それに
も、古い 町の ようすや ぎょうじが まだまだ たくさ
ん 残って います。

2 ～のに —— ↔ ので

(春子の話) : わたしは 東京に 来て 二年に なるのに、あまり 東京
を 知りません。

(下町) : こんなに たくさん 家がある□□、とても 静かね。

(とうふ屋の前) : こんなに 早い□□、もう この お店 あいて いるわ。

(朝顔市) : 朝 早い□□、人が おおぜい 来て いるわね。

3 ～ても —— ↔ ～たら (～ば/～と)

(回想) : 水道が あっても、私は よく 井戸を 使ったわ。

(そば屋) : ゆっくり 歩い□□ 10分と かからないわ。

(せんべい屋) : 雨が 降っ□□、行きましょうよ。

4 ～けれども —— ≡が/しかし

(せんべい屋) : ずいぶん いろいろな おせんべいが あるけれど、昔から
こんなに いろいろ あったんですか。

(せんべい屋) : せんそうで 下町は ほとんど 焼けて しまった□□、
この 店は 焼けなかったんですよ。

(せんべい屋) : 変わって きて いるんです□□、……でも、まだ
いろいろな ものが 残って います。

② 「～ても」

れい： ゆっくり ^{ある}歩きます。10分と ^{じゅうぶん}かかりません。

→ ゆっくり ^{ある}歩いても ^{じゅうぶん}10分と ^{じゅうぶん}かかりません。

1. 雨が ^{あめ}降ります。行きましょう。

→

2. 水道が ^{すいどう}ありました。私は ^{わたし}よく ^{いん}井戸を ^{つか}使いました。

→

3. 高いです。買います。

→

4. 冬です。セーターを ^き着ません。

→

③ 「～のに」

れい： こんなに ^{いえ}たくさん ^{いえ}家が ^ああります。とても ^{しず}静かです。

→ こんなに ^{いえ}たくさん ^{いえ}家が ^ああるのに、とても ^{しず}静かです。

1. 東京に ^{とうきょう}来て ^きもう ^{にねん}二年に ^なります。あまり ^{とうきょう}東京を ^し知りません。

→

2. さっき ^よ呼びました。まだ ^き来ません。

→

3. まだ ^{あき}朝 ^{はや}草い ^{ひと}です。人が ^おおせい ^いいます。

→

4. もう ^{しがつ}四月です。ちっとも ^ああたたかく ^なりません。

→

④ 「～ので」→「～のに」

れい：あした しけんが あるので、勉強^{べんきょう}して います。

→ あした しけんが あるのに、勉強^{べんきょう}して いません。

1. 雨^{あめ}が ふって いるので、出^でかけません。

→

2. かぜを ひいたので、学校^{がっこう}を 休^{やす}みました。

→

3. まだ 寒^{さむ}いので、セーターを 着^きて います。

→

4. 外国^{がいこくじん}人なので、日本^{にほんじん}人の ように 話^{はな}せません。

→

⑤ 「～たら (～ば/～と)」→「～ても」

れい：安^{やす}かったら、買^かいたいです。

→ 安^{やす}くても、買^かいたく ないです。

1. 雨^{あめ}が ふったら、行^いきたく ないです。

→

2. 夏^{なつ}に なったら、泳^{およ}ぎに 行^いく つもりです。

→

3. お金^{かね}が なければ こまります。

→

4. けっこんすると、名^な前^{まえ}が かわります。

→

⑥

れい：朝 早いのに 人が おおぜい 来て います。

1. わたしは 日本語を 勉強して 三年に なるのに、
_____。
2. あの 店は とても おいしいから、少し 高くても
_____。
3. わたしは まだ 京都へ 行った ことが ありませんけれども、
_____。
4. 東京は、物の ねだんが たいへん 高くて 住みにくいです。それにも
かかわらず、_____。

⑦

れい：A：冬は、井戸の 水は つめたいでしょう。

B：ええ、でも わたしは、冬でも、井戸の 水を 使いました。

1. A：その 店は とおいですか。
B：ここから すぐです。ゆっくり _____、10分と
かかりません。
2. A：Bさんは 東京を よく 知っていますか。
B：いいえ、わたしは 東京へ 来て _____、
東京を あまり 知りません。
3. A：下町も ずいぶん 変わりましたね。
B：ええ、_____、(でも)、まだ いろいろな
ものが のこって います。

⑧ ビデオテープをみてこたえましょう。

1. ビデオ I の場面

東京がこのような大都会になつたにもかかわらず、

→

2. ビデオ V の場面

こんなにたくさん家があるのに、

→

3. ビデオ VIII の場面

(ええ、) 変わって きて いるんですけど、

→

4. ビデオ VIII の場面

雨がふっても、

→

⑨

1.



とけいが こわれていました。

とけいの ベルが _____、
(なる)

まだ あさでは ありませんでした。

2.



ハイキングに きました。

わたしは とても _____、
(つかれる)

たなかさんは げんきそうです。

3.



_____、 しんかんせんに まにあいません。
(いそぐ)

- ⑩ の ^{なか}中から てきとうな ものを えらんで、[] の ^{なか}中に かきなさい。一つの ^{ひとつ}ことばは ^{いっかい}一回しか ^{つか}使っては いけません。

しかし、そこで、それから、それで、それに、だから

1. まず お寺へ ^{とら}行きました。[] ^{まち}町を ^{ある}歩いて ^か買い物 ^{もの}を しました。
2. すこし ^{ねつ}ねつが あります。[] ^{がっこう}学校は ^{やす}休みません。
3. 「きのう ^{まち}町で パスポートを おとして しまいました。」
「[] あなたは どう したのですか。」
4. きょうは あさから ^{あたま}頭が いたいです。[] ^{ねつ}ねつも あります。
5. わたしは あまり ^{とうきょう}東京を ^し知りません。[] ^{まさこ}正子さんと いっしょに ^{とうきょうけんぶつ}東京見物 ^をする ことに しました。
6. あした テストが あります。[] きょうは ^{いちにち}一日じゅう ^{うちで}うちで ^{べんきょう}勉強する つもりです。

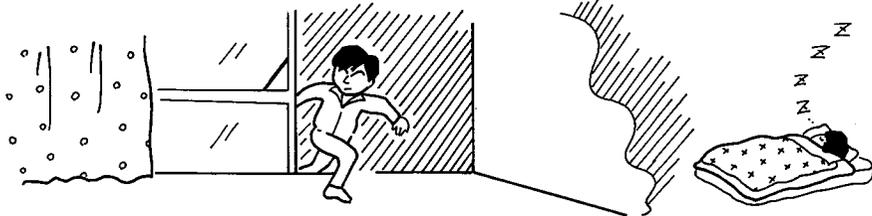
- ⑪ の ^{なか}中から てきとうな ものを えらんで、[] の ^{なか}中に かきなさい。一つの ^{ひとつ}ことばは ^{いっかい}一回しか ^{つか}使っては いけません。

ぜひ、たとえば、なかなか、はじめて、ほとんど、よく

1. いっしょうけんめい ^{べんきょう}勉強して いるのに [] ^{じょうず}じょうずに なりません。
2. きょうは ^{てんき}天気が いいので、ふじさんが [] ^{みえ}見えます。
3. わたしは ^{にほん}日本へ ^{きて}来て、[] ^{さくら}桜を ^み見ました。
4. あしたの パーティーへは [] ^{きて}来て ください。
5. きょうの しゅくだいは [] ^{おわり}おわりました。
6. わたしは スポーツなら ^{なん}何でも ^す好きです。[] テニスや ^{ピンポン}ピンポンや ^{すいスイ}水泳などを よくやります。

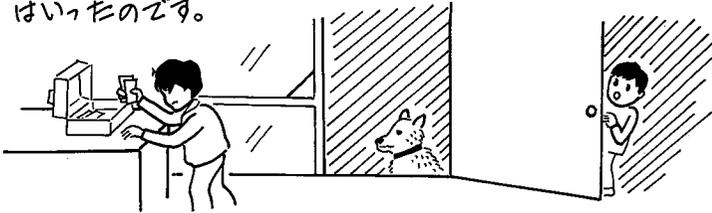
24

おかねをとられました



どろぼうは やまださんの うちに
はいりました。
どろぼうは ガラスを きって いえの
なかにはいったのです。

やまださんは どろぼうに
[] ました。
ガラスは [] ました。



どろぼうは さんこの かぎを 二わしました。
どろぼうは おかねを とりました。
どろぼう○ 二ども○ みられました。
どろぼうは いぬに かみつられました。

かぎは [] ました。
やまださん○ おかね○ とられました。
二どもは どろぼうを みました。
いぬ○ どろぼう○ かみつきました。



けいがんは やまださんに いろいろ
ききました。



やまださん○ けいがん○ いろいろ
きられました。



どろぼうは けいがんにつかえられました。 けいがんは どろぼうを [] ました。

① 「うけみ」

1. 子どもが どろぼう を 見ました。

→ どろぼう は 子ども に 見られました。

2. どろぼう が 山田 さんの お金 を とりました。

→ 山田 さんは どろぼう に お金 を とられました。

3. どろぼう が 山田 さんの 家 に 入りました。

→ 山田 さんは どろぼう に 家 に 入られました。

4. けいかん が 山田 さん に はなし を 聞きました。

→ 山田 さんは けいかん に はなし を 聞かれました。

5. どろぼう が きんこ を こわしました。

→ きんこ は どろぼう に こわされました。

② 「～すると、～した」

すきまから のぞきました。どろぼう が お金 を とりだして いました。

→ すきまから のぞくと、どろぼう が お金 を とりだして いました。

③ 「～(よ)うと する」

大きな 声 を 出そうと しました。でも こわくて 動けませんでした。

→ 大きな 声 を 出そうと しましたが、こわくて 動けませんでした。

④ 「うけみ」の形

聞^きく → 聞^きかれる

かむ →

おこる →

切^きる →

みる →

あける →

たべる →

する →

くる →

⑤ 「うけみ」(1)

れい：子どもが だろぼうを 見ました。→ だろぼうが 子どもに 見られました。

1. 先生は 学生を かりました。→ 学生は
2. やましたさんは わたしを 呼びました。→ わたしは
3. お父さんは 子どもを ほめました。→ 子どもは
4. 犬が 男の子に かみつきました。→ 男の子は
5. 女の人が わたしに 道を ききました。→ わたしは

⑥ 「うけみ」(2)

れい：だろぼうが 山田さんの お金を とりました。

→ 山田さんは だろぼうに お金を とられました。

1. 弟は わたしの カメラを こわしました。→ わたしは
2. だれかが いしださんの 足を ふみました。→ いしださんは
3. ねこが わたしの 本を きたなく しました。→ わたしは
4. すりが わたしの さいふを すりました。→ わたしは
5. 兄が 弟の 頭を たたきました。→ 弟は

⑦ 「うけみ」(3)

れい：ネズミは ネコに 殺されました。→ ネコは ネズミを 殺しました。

1. 学生は 先生に おこられました。→
2. だろぼうは 犬に かみつかけました。→
3. あの子は おばあさんに 育てられました。→
4. 子どもに ガラスを わられました。→
5. だれかに お金を とられました。→

⑧ 「～すると、～した」

れい：すきまから のぞきました。どろぼうが お金を とり出して いました。

→ すきまから のぞくと、どろぼうが お金を とり出して いました。

1. 家へ かえりました。手紙が きていました。

→

2. まどを 開けました。鳥の なき声が 聞こえて きました。

→

3. 林の 中に 入りました。小さい お宮が ありました。

→

4. 少し 考えました。問題の ときかたが わかりました。

→

5. トンネルを 出ました。そこは 雪国でした。

→

⑨ 「～(よ)うと する」

れい：大きな 声を出そうと しました。でも、こわくて 動けませんでした。

→ 大きな 声を出そうと しましたが、こわくて 動けませんでした。

1. どろぼうが 家に 入ろうと しました。犬に ほえられて にげました。

→

2. 汽車の なかで おべんとうを 食べようと しました。はしが ありませんでした。

→

3. 友だちと テニスを しようと しました。ラケットが こわれて いました。

→

4. きっぷを 買おうと しました。でも さいふが ありませんでした。

→

⑩ 会話の練習をしましょう。

1. A : どう したんですか。

B : スミスさんに ふたれたんです。

A : それは たいへんでしたね。

1. 犬、かむ
2. 父、おこる
3. どろぼう、入る

2. A : どうか したんですか。

B : どろぼうに お金を とられて しまいました。

A : それは たいへんですね。

1. すり、さいふ、する
2. 子ども、足、ふむ
3. だれか、じてんしゃ、こわす
4. 友だち、高い おさげ、のむ
5. ネズミ、チーズ、食べる

3. A : だれに 荷を されましたか。

B : どろぼうに きんこを ぬすまれました。

A : そうですか。

1. どろぼう、家に 入る
2. 犬、服を くいちぎる
3. 子ども、石を なげる
4. 母、日記を 読む
5. 先生、いろいろ 聞く

⑪ ビデオテープを きいて、 の ^{なか} 中に ^か 書きなさい。

子ども：よなかに へんな ので、ぼくは ^め 目が さめました。

^と 戸の すきまから のぞくと、 が きんこを あけて を とりだして いました。

けいかん：ええと、 ？

やまだ : やまだ いちろうです。

けいかん：ふんふん、ここから、どろぼうに 人ですね。

けいかん：ほほう、かぎが いますね。

そして、きんこを のですね。

けいかん： とられた……。

とられましたか。

⑫ ビデオの ^{はなし} 話を ^{かんが} 考えて、つぎの しつもん に こたえなさい。

1. ^{やまだ} 山田さんは どろぼうに ^{なに} 何を とられましたか。

2. どろぼうは どのようにして ^{やまだ} 山田さんの いえに はいりましたか。

3. どろぼうは つかまえられましたか。

25

あめにふられて
こまりました

あきこさんは
ちいさいころは よく
びょうき しました。

あきこさんは
よむかに 病みました。



「いつの ときでした。
よむかに あきこの 病みごえで
おこされて、ひたいを さわって
みると すごい ねづでした。」

おとうさんは いないし、
あきこには ちが□し、
ほんとうに こまりました。」

ポチが しにました。

あきこさんは
病みました。



「ポチ○ しなれた ときは、
ずいぶん かちしかったわ。」

「あの ときは あきこ○
ずいぶん □ました。」

よこはま△ いったとき、
あめが □ました。



「かえりに あめ○ ふられて
こうえんの きゅうけいしよで
あめが やまのを まったわね。」

よしおさんが まちあかせに
おくれたとき。

おえろらと した とき、
おきやくとんが きました。

かちようは よしおさんを
よんで □ました。
しごとも いいつけました。



「かえろらと した とき
おきやく○ ころれるし どのあと
かちよう○ おぼれて
しかられるし。」

しごとも □れて。」

「あなを まって いるとき、
ほかの おきやくとんに
ゴップの みずを □れて
スカート を びしょびしょに
□て—。」

けっこんしきの しゃしん。

「おむさんが きれいな
およめさんだと いって
□ました。」



「きれいな およめさんだといって、ほめられました。」

① 「うけみ」

1. 雨が降りました。わたしは こまりました。
→ 雨に 降られて、こまりました。
2. 若い人が この 歌を よく 歌っています。
→ この 歌は 若い 人に よく います。
3. 4年に 1度、オリンピックを 行います。
→ 4年に 1度、オリンピックが ます。

② 「～し、～し」

1. きょうは 雨が降っています。風も 吹いています。
→ きょうは 雨が降っているし、風も 吹いています。
2. この アパートは 広いです。駅まで 遠く ありません。部屋代も 安い
です。
→ この アパートは 広いし、駅まで 遠く ないし、部屋代も
安いです。
3. この ホテルは 静かです。部屋が きれいです。また 来たいです。
→ この ホテルは 静かだし、部屋も きれいだし、また 来たいです。
4. きょうは 日曜日です。天気もいいです。どこも 人で こんで
います。
→ きょうは 日曜日だし、天気もいいし、どこも 人で こんで
います。

③ 「～たびに」

1. 明子に 病気されました。その ときは いつも 心配しました。
→ 明子に 病気される たびに、心配しました。
2. あの人は かぜを ひきます。そのときは いつも 学校を 休みます。
→ あの 人は かぜを ひくたびに、学校を 休みます。

④ 「うけみ」(1)

れい：雨が降りました。それで こまりました。→ 雨に降られて、
こまりました。

1. 赤ちゃんが なきました。それで ねられませんでした。→
2. 友だちが 来ました。それで 勉強できませんでした。→
3. 父が 死にました。それで 母は 苦労しました。→
4. みんなが わらいました。それで はずかしかったです。→
5. 忙しい ときに、子どもが 病気しました。それで たいへんでした。→

⑤ 「うけみ」(2)

れい：若い 人が この 歌を 歌って います。→ この 歌は 若い 人に
歌われて います。

1. 子どもが この テレビ番組を よく 見えています。→
2. 世界中の 人々が この 話を 知っています。→
3. 人々が パンダを 愛して います。→
4. おおぜいの 人が この 本を 読んで います。→
5. みんなが この 木を 大切に して います。→

⑥ 「うけみ」(3)

れい：パーティーを あした ここで 行います。→ パーティーは あした
ここで 行われます。

1. しけんを 来週 この 部屋で 行います。→
2. パーティーを きノウ ここで 開きました。→
3. 新しい たばこを 東京で 売って います。→
4. この ぎっしを 毎週 木曜日に 発行します。→
5. オリンピックを 1988年に ソウルで 開きます。→

⑦ 「～し、～し」

れい：おとうさんは いませんでした。それに 明子には なかれました。

それで ほんとうに こまりました。

→ おとうさんは いないし、明子には なかれるし、

ほんとうに こまりました。

1. 秋は 晴れる 日が 多いです。それに 気温も 高く ありません。
旅行には とても いい 季節です。

→

2. この ぬのは きれいです。それに じょうぶです。それで
よく 売れて います。

→

3. 井上さんは、あかるい 人です。それに スポーツは なんでも
できます。それで みんなに 愛されて います。

→

⑧ 「～たびに」

れい：明子に 病氣されました。そのときは いつも、心配しました。

→ 明子に 病氣される たびに、心配しました。

1. 日本に 来ます。そのときは いつも 京都へ 行きます。

→

2. 外国旅行を します。そのときは いつも 写真を たくさん とります。

→

3. 山下さんと 会います。そのときは いつも あなたの 話を します。

→

4. 雪が ふります。そのときは いつも スキーが したく なります。

→

9 「うけみ」

A 「きのうは 晩ごはんが 食べられなかったよ。」

B 「どうして。」

A 「しまって おいた さかなを ネコが 食べて しまったんだ。」

B 「どこに しまって おいたんだい。」

A 「戸だなに しまって おいたんだけど、ネコが 開けたらしい。」

B 「ふーん。どこの ネコだい。」

A 「Cさんが かって いる ネコだ。」

B 「あの ネコか。あの ネコなら、ぼくのおかずを とった こともある。」

A 「Cさんには 注意した ことがあるんだけどね。」

B 「Cさんは ネコが 何か とって くと、ネコを ほめるんだろう。」

A 「ネコが 何か わるいことを する たびに、Cさんには いうんだよ。」

B 「そうすると、Cさんは『この ネコは 戸を 開けるのが うまい』

などと いう人だから ほんとうに こまって しまうね。」

A 「よく 気を つけようね。」

れい：Aさんは しまって おいた さかなを 食べましたか。

→ いいえ、ネコに さかなを 食べられて しまいました。

1. Aさんは 戸だなを しめて おきましたか。

→ はい、でも Aさんは

2. ネコには かって いる 人が いますか。

→ はい、ネコは Cさんに

3. ネコは Bさんの おかずも とった ことがありますか。

→ はい、Bさんも

4. Aさんは Cさんに 注意ちゅういしましたか。

→ はい、Cさんは

5. ネコが 何かなに とって くと、Cさんは おこりますか。

→ いいえ、ネコは

6. ネコが 何かなに する たびに、Cさんは どう なりますか。

→ ネコが 何かなに する たびに、Aさんから

7. Bさんは なぜ こまって しまうのですか。

→ Cさんに 何かなに いうと、Cさんに

⑩ 「～し、～し」

れい：学校がっこうでは、勉強べんきょうも するし、運動うんどうも するし、いそがしいです。

1. 東京とうきょうには _____ べんりです。
2. 歌舞伎かぶきは _____ みたいです。
3. 山田やまださんは _____ いい人ひとです。
4. この カメラは _____ たいへん いい カメラです。
5. 日本にほんは _____ お金かねが かかります。

⑪ 「～たびに」

れい：おじさんは うちに 来る たびに ケーキを 買って 来きます。

1. 子どもが なく たびに _____。
2. 宿題しゅくだいが できる たびに _____。
3. 国くにへ 帰かえる たびに _____。
4. 体重たいじゆうを はかる たびに _____。
5. あたらしい 自動車じどうしゃが 発売はつぱいされる たびに _____。

12 会話の練習をしましょう。

れい：うちへ 帰る とき、雨が ふる。

1. A：きのうは ひどい めに あいました。

B：どう したんですか。

A：うちへ 帰るとき、雨に 降られて、たいへんでした。

B：それは こまったでしょうね。

1. 夜、となりの 赤ちゃんが 泣く

2. 勉強している とき、友だちが 遊びに 来る

3. 夜中に、どろぼうが 入る

2. A：きのうの パーティーは どうでしたか。

B：よかったですよ。

たべものは おいしかったし、いろいろな 人に 会えたし……。

A：そうですか。わたしも 行きたかったのですが。

1. きんのうの コンサート、オーケストラは すばらしい、

コンサートホールも りっぱ

2. この間の バス旅行、天気が いい、

けしきも きれい

3. 北海道 すずしい、

山も 海も すばらしい

3. A：どうか したんですか。

B：いえ、だいじょうぶです。

ごはんを 食べる たびに、ちょっと おなかが いたく なるんで す。

1. お酒を 飲む、気持ちが 悪くなる

2. 学校へ 来る、熱が 出る

13 ビデオテープを 聞いて、の 中に 書きなさい。

明子：おとうさんは？

母：で 出かけたんですよ。

すぐ 。

きょうは、うちで 夕ごはんを 。

明子：ええ。

母：五つの ときでした。

よなかに 明子の なき声で 、ひたいを さわって
みると、すごい 熱でした。

おとうさんは 、明子には 、
ほんとうに 。

明子：あなたを 待っている とき——、ほかの お客さんに

こぼされて——、スカートを

——。

良夫：ちょうど そこへ ぼくが 行った ものだから——

とても 。

14 ビデオの 話を 考えて、の 中に 書きなさい。

1. 明子さんは 写真を 良夫さんに ました。

2. おかあさんは 病気される たびに、心配しました。

3. ポチに 、明子さんは 悲しくて 。

4. 明子さんと 良夫さんが 横浜へ 行った とき、雨に 。

5. 明子さんと 会う 日、良夫さんは 会社で おこられて、
きっさ店で おこられて しまいました。

『日本語教育映画 基礎編』 作成関係者

(指導・助言) 日本語教育映画等企画協議会委員 (所属は在任当時のもの)

池尾 スミ (米加十一大学連合日本研究センター)

石田 敏子 (国際基督教大学)

今田 滋子 (国際基督教大学)

木村 宗男 (日本語教育学会)

工藤 浩 (国立国語研究所)

窪田 富男 (東京外国語大学)

斎藤 修一 (慶應義塾大学国際センター)

佐久間 勝彦 (東京外国語大学)

杉戸 清樹 (国立国語研究所)

(企画) 国立国語研究所日本語教育センター関係者 (在任当時関係者も含む)

野元菊雄 南 不二男 川瀬生郎 日向茂男 田中 望

清田 潤 中道真木男 林 大 武田 祈 水谷 修

(制作) 日本シネセル株式会社

この『練習帳』の企画・校閲・編集は国立国語研究所日本語教育センター日本語教育指導普及部教材開発室の日向茂男、清田潤が担当した。全巻に渡っての企画・校閲には中野泰子(アジア学生文化協会留学生日本語コース)、野村美知子(アジア学生文化協会留学生日本語コース)の両氏に多大な協力を得た。また印道緑、清地恵美子、戸川さやかの各氏に企画時の補助をお願いした。

このユニット5の原案執筆・検討には中野泰子、丸山敬介、森由紀、森戸規子、石原恵子、杉山太郎の各氏に助力を仰いだ。

『日本語教育映画 基礎編』 練習帳

1984年 11月 15日 発行

定価 500円

企画・編集 国立国語研究所

〒115 東京都北区西が丘3-9-14 電話(03)900-3111

発行 日本シネセル株式会社

〒107 東京都港区赤坂1-9-15 電話(03)582-2691~4

発売 株式会社 ビスコ

〒115 東京都港区赤坂2-13-19 多聞堂ビル 電話(03)582-8467~9